

ま  
ど

渡島管内松前町の相馬佳佳さん(18)は今月、福島商業高(同管内福島町)を卒業する。在学中に全国商業高等学校協会(全商)主催の検定9種目で、すべて最難関の1級に合格。2月末に全検定制覇をたたえる表彰状が届き、「頑張れたって実感が湧いてきた」と笑顔を見せた。1年生の時に「せっかく商業

## 全商検定制覇

高校に入学したのだから」と挑戦を決めた。最初に力を入れた「そろばん」は、それまで手にしたことはなかったが、1年の冬から毎日1〜2時間の練習を重ねて翌春、1級に合格した。全種目制覇まであと1種目に迫った2年の秋、企業会計の基礎を問う「財務会計」を受検したが、合格ラインの70点に1点届かず不合格。「泣きました」。遅くまで学校に残って自習する

など勉強を重ね、昨年10月末に再挑戦して合格を果たした。担任の工藤英太郎教諭は「困難にぶつかっても乗り越えられる子です」と努力をたたえる。4月から、相馬さんは小樽市役所で働きながら小樽商科大の夜間主コースに通学する。簿記の勉強を続ける予定で「将来は公認会計士の資格を取得したい」。新たな挑戦に胸を膨らませている。(井代圭祐)